

令和8年度 地域運営組織全国セミナー in 高崎

～人と人がつながり
人の優しさと
地域の魅力を
未来へつなぐ郷 利根～

令和8年9月10日(木)
沼田市 市民部 市民協働課
利根地区コミュニティセンター



沼田市コミュニティセンターの概要



池田地区コミュニティセンター



薄根地区コミュニティセンター



川田地区コミュニティセンター



テラス沼田(沼田市役所)



利南地区コミュニティセンター



利根地区コミュニティセンター



白沢地区コミュニティセンター



白沢地区コミュニティセンター
別館

沼田市コミュニティセンターの概要

地域	沼田	利南	池田	薄根	川田	白沢	利根
パートナー協定	下町地域づくり協議会	利南地区振興協議会	池田地区振興協議会	薄根地区振興協議会	ふれあいカワダ会	しらさわみらい会	利根地域づくり協議会
協定締結日	R7.5.7	R8.3.25	R6.5.16	R6.5.16	R6.5.16	R7.5.7	R7.5.7
人口(a)	17,147	8,399	2,036	5,603	2,602	3,345	3,204
世帯(b)	8,587	4,151	978	2,477	1,226	1,489	1,606
世帯人口(a/b)	1.9	2.0	2.0	2.2	2.1	2.2	1.9
小学校	3	2	1	1	1	1	1
中学校	2	2	1	1	0	1	1
開館日数	－	242					
休館日	－	月から金。土日祝年末年始閉館、ただし貸出は可能(年末年始除く)。					
行政区	18	9	11	16	7	7	13
職員	5	4	4	4	4	9	10
(内訳)	係長 指導員 主査、副主査 主任	所長(定延) 係長 主任、会計年度	所長(再任) 係長 主事、会計年度	所長(再任) 係長 主事補、会計年度	所長(再任) 係長 主任、会計年度	所長(課長補佐) 地域係 3 生活係 4 集落支援員1	所長(課長補佐) 地域係 4 生活係 4 集落支援員1
利用回数(R7)	－	118	271	510	228	496	205
利用人数(R7)	－	1,605	3,781	6,401	4,065	7,158	4,161
行政機能	－	住民票等の交付				証明書(住・税)の交付、住民異動、戸籍届出、税金の領収、市道、林道維持管理	
使用料(R7)	－	34,540円	27,940円	225,770円	43,670円	79,640円	67,540円

沼田市利根地区の概要

豊かな自然と観光資源に恵まれた地域

利根地区は、名勝「吹割の滝」や「老神温泉」などの観光資源を有し、農業や果樹栽培が盛んな地域です。

一方で、少子高齢化や人口減少が進み、地域の支え合いや将来に向けた持続可能な地域づくりが求められています。

沼田市・利根地区の概要(令和8年7月31日現在)		
	利根地区	沼田市全体
人口	3,210人	42,176人
世帯数	1,630世帯	20,558世帯
高齢化率	44.70%	37.18%
面積	279.90km ²	443.46km ²
集落数	13	81

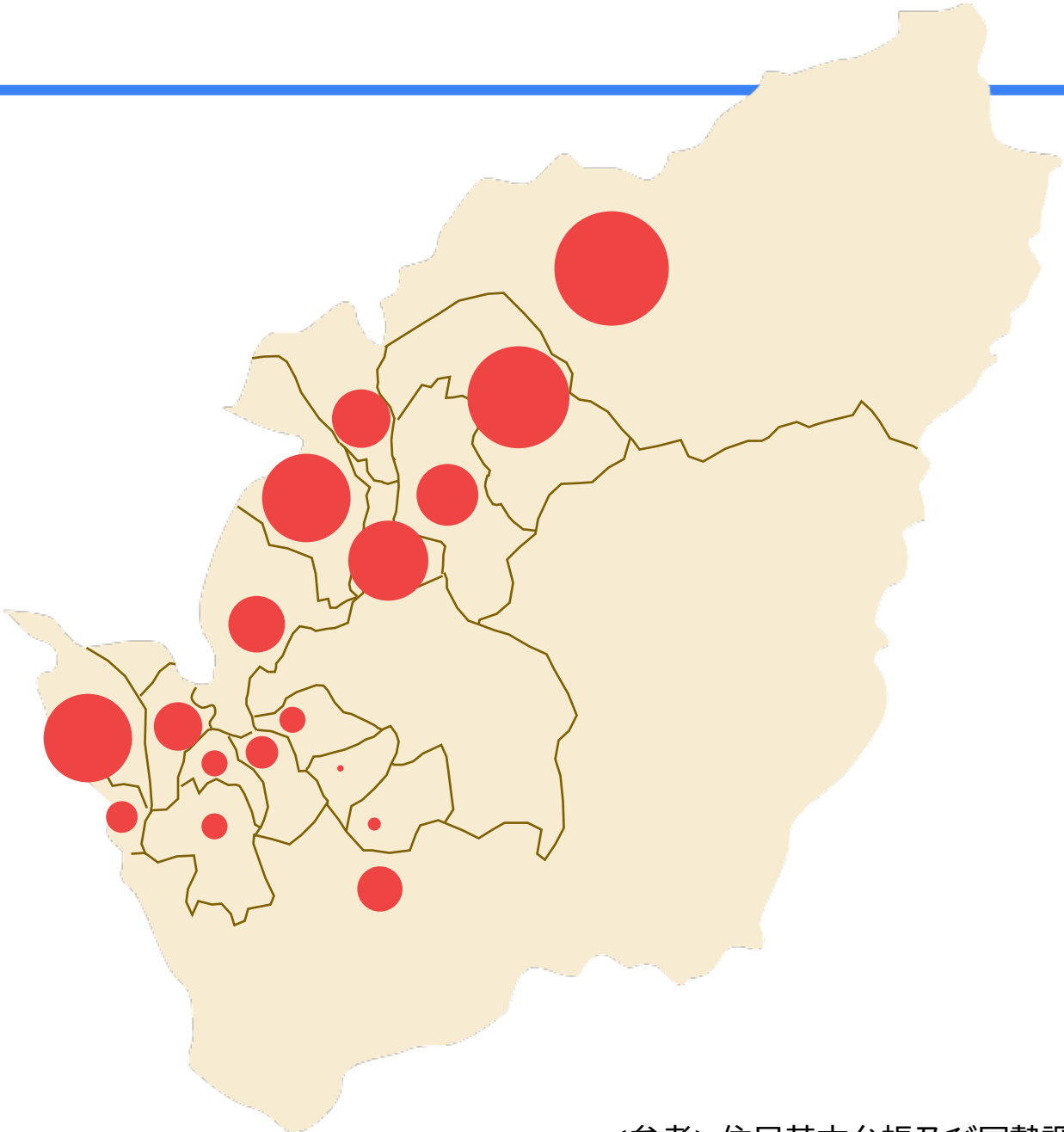
- ・合併の時には4,894人
- ・公共施設等 小学校1か所、中学校1か所、保育園2か所、診療所1か所
(中学校は令和8年度末、小学校は令和12年度末に廃校)

群馬県沼田市の東部に位置する
自然豊かな中山間地域



利根地区の人口構造

行政区	人口	世帯数	65歳以上	高齢化率
追貝	466	233	200	42.92%
平川	680	348	307	45.15%
大楊	156	68	63	40.38%
高戸谷	133	64	59	44.36%
老神	328	191	156	47.56%
大原	347	167	162	46.69%
園原	147	72	78	53.06%
穴原	49	27	35	71.43%
根利	78	51	54	69.23%
南郷	121	72	81	66.94%
輪組	179	94	49	27.37%
多那	389	167	143	36.76%
二本松	137	76	48	35.04%
合計	3,210	1,630	653	44.70%



<参考>住民基本台帳及び国勢調査

利根地域づくり協議会 設立までの歩み

令和3年～令和7年
約4年間にわたる取り組み

設立までの苦労

地域づくりは組織を作ることが目的ではない
・地域住民が必要性を理解すること
・地域の課題を自分たちで考えること
・「やらされる組織」ではなく
「自分たちの組織」として納得すること
そのために、多くの対話と時間が必要だった。

市長が各地域に入って説明を実施

市長自らが各地域へ出向き、地域づくりについて説明し、意見交換を行いました。

- 対象地区(13地区)
追貝・大楊・高戸谷・輪組・多那・二本松・平川・
老神・大原・園原・穴原・南郷・根利
- 開催回数 6回 ■参加者：124名



市長との懇談会の様子

これまでに開催した主な会議イベント

役員会・事例発表・パネルディスカッション等	6回
市長との懇談会(各地域)	6回
大座談会	3回
出張講演会(各地区)	4回
準備会・役員会・打合せ等	20回以上
地域イベント・円卓会議・次世代会議等	多数

令和3～4年度 地域づくりの理解を深める

- ・地域づくり講演会(3回)
- ・白沢・利根・地域づくり講演会
- ・事例発表&パネルディスカッション
- ・利根地区の地域づくりを考える会など

開催回数6回 参加者:延べ111名以上



地域づくり講演会の様子

令和5年(1～3月) 住民の声を集める・共有する

- 大座談会(2回)
・利根地区の良いところ、足りないところ
・地域づくりビジョン(3か条)の検討
- 市長との懇談会(各地域で説明・意見交換)
開催回数:6回 参加者:約124名
- 出張講演会(各地区へ出向いて説明)
開催回数:4回 参加者:約81名
大座談会参加者:約98名



令和5年(4月～) 準備会を設立し、組織づくりを推進

- ・4月区長会利根支部会議
- ・5月市長との懇談会(根利)
- ・6月地域づくりを話し合う会
- ・7月大座談会(第3回)
- ・7月地域づくり打合せ会
- ・8月22日
(仮称)利根地区広域コミュニティ
運営組織設立準備会 設立総会
設立後、役員会・打合せ会を毎月開催
(令和5年9月～令和6年3月まで7回)



令和6年度 活動しながら組織を育てる

- ・役員会・打合せ会を継続
- ・次世代会議の開催
- ・円卓会議(移動手段の問題を考える)
- ・とねdeしゃべり場の開催
- ・利根を元気にする交流会



利根地区を元気にする交流会

令和7年(1～3月) 協議会設立に向けて最終準備

- ・役員会で組織体制・規約等を協議
- ・とねdeしゃべり場(Vol.2)開催
- ・第1回利根寄席の開催(約74名参加)
- ・地域の仲間づくりをさらに推進



第1回利根寄席

気づきと学び

- ☑住民一人ひとりの声を丁寧に聞いたことが、地域の課題や未来への想いの共有につながった
- ☑市長自らが地域に足を運び、直接対話したことで、信頼と理解が深まった
- ☑準備会の活動やイベントを通じて「一緒にやろう!」という仲間が増えた

対話を積み重ねたからこそ、みんなの想いがひとつになり
令和7年4月24日「利根地域づくり協議会」が誕生しました!

これからの目標

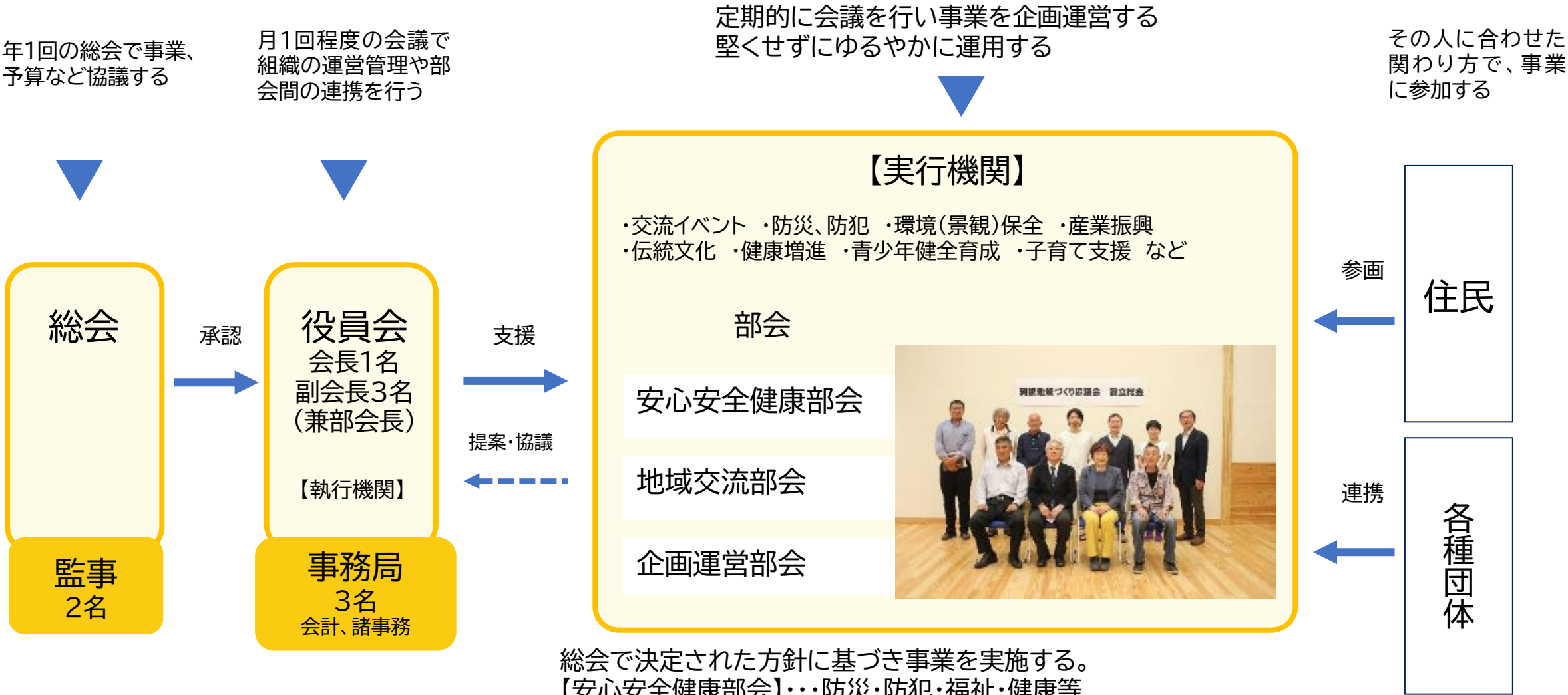
「住んでよかった、これからも住み続けたい利根地区」を目指し、
みんなで力を合わせて地域づくりを進めていきます!

私たちの合い言葉(ビジョン3か条)

- ①人と人がつながり、支え合うまち
- ②自然や文化を大切に、誇れるまち
- ③みんなで考え、みんなでつくるまち

利根地域づくり協議会 組織図

R7.4月設立時



総会で決定された方針に基づき事業を実施する。
【安心安全健康部会】・・・防災・防犯・福祉・健康等
【地域交流部会】・・・伝統芸能・文化・青年健全育成等
【企画運営部会】・・・事業の企画、協議会の運営、各部会の調整、情報発信等
※必要に応じて「プロジェクトチーム」を設置して、事業を実施する。

■主な事業・活動支援

▶ 安心安全対策事業

・防災対策事業(83名)

▶ 地域支え合い事業

・お茶のみ会などの交流事業



■主な事業・活動支援

▶ 地域交流事業

- ・高校生による宿題サポート(31名)
- ・落語会(73名)
- ・子ども食堂＋ワークショップ(68名)
- ・フォトコンテスト(79点)
- ・健康麻雀(26名)



■主な事業・活動支援

▶ 広報事業

- ・地域づくり通信の発行(年5回)
- ・SNS(Instagram)での随時発信

▶ 研修事業

- ・地域づくりに関する講演会・勉強会
- ・先進地視察(14名)



集落支援員としての取組の紹介

●住民に寄り添い、地域の未来をつくる

生まれも育ちも利根地区でしたが、
集落支援員に就任したばかりの頃は、地域住民と顔見知りであっても、
話したことがない方も多く・・・まだまだ知らない方ばかりでした・・・

まずは
集落支援員としての存在を地域住民に知ってもらい、話しやすい存在になるために、地域住民が集まる場所へ出向くことから始めました。

住民が集まる場所へ出向くことからスタート！

高齢者の集いの場に参加

- ・福祉施設主催の「カフェ」
- ・社協主催の「茶話会」 など

カフェでの交流



高齢者サロン



待っていても困っている人は来ない…
住民が集まる場所へ行き、
地域住民との雑談から始めました！！

何気ない会話からつながりが生まれます



集落支援員同士の情報交換・集落への直接訪問

ひとり暮らし高齢者世帯の集落点検をしている他の2名の集落支援員と、生活状況や集落状況などの情報交換を雑談を交えて、定期的に行う。

来てもらうのではなく、こちらから直接集落へ行き、話しやすい環境で住民の困りごとや悩みを共有し、必要であれば、関係機関へつなぐ。

そこで見つけた利根地区の今…



限界集落



耕作放棄地



空き家だらけ



地区には
高齢者1人のみ

住民の思いを大切に、共に支え合う地域づくりへ

生まれ育ったこの場所で最後まで暮らしたい・・・
住民の思いを大切に・・・

定期的に顔を合わせ、雑談をする

2名の集落支援員に任せっきりでなく、
サポートに入り住民の小さな困りごとや悩みを解決していく
生まれ育ったこの場所で最後まで暮らしたい・・・

集落支援員として心がけていること

- ・住民に寄り添い、話しやすい関係づくり
- ・まずはよく聞く、受け止める姿勢
- ・小さな困りごとを見逃さない
- ・関係機関と連携し、必要な支援につなぐ
- ・地域のつながり、支え合いを育てる



今まで苦労したこと・地域に起きた変化

今まで苦労したこと

「地域づくり＝イベント」というイメージの転換

「今は困っていない」という声との温度差

課題ばかりを話し合う、重たい空気感

広すぎるエリアと、待つだけでは人が来ない現実

「主催」ではなく「お手伝い」からのスタート



地域に起きた変化

地域の課題を話し合う「プラットフォーム」の誕生

「お手伝い」から「自分ごと」として動く人の増加

「課題解決」から「楽しい活動」への意識の変化

広い地域をつなぐ「新しい人の輪(つながり)」

「まだ大丈夫」から「10年後を考える対話」へ

ご清聴ありがとうございました。

利根地区の地域キャラクター「ズットねちゃん」



ズットねちゃんは沼田市利根地区の魅力発信キャラクターで、地元の中学生在が考えてくれました。地域の宝物や人とのつながりを大切に、「ずっと利根地区」らしさを未来へ残したいという願いが込められています。

